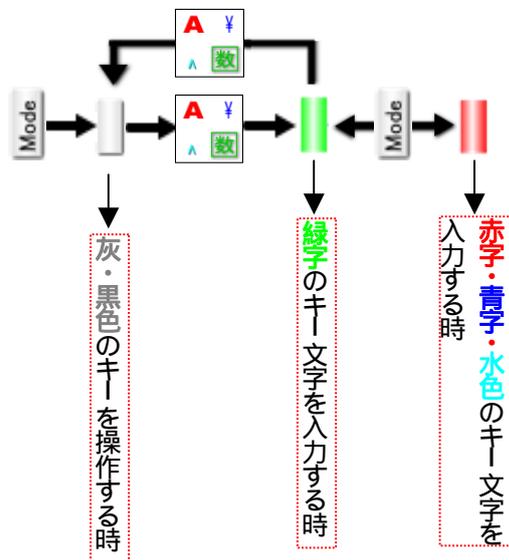


# P320 の文字入力の手操作

2017/12/13 改訂

## ●入力モードスイッチとキー割付文字の関係



### 【使い方の基本】

Mode スイッチのランプの色と、入力するキートップの文字色は同期しています。

- モードランプ「赤」の時にキートップの[赤色]の文字が有効です。
- モードランプ「緑」の時にキートップの[緑色]の文字が有効です
- 青色の文字は、モードランプ「赤」で、「辞書」キーを1度押した後に押して、その後「SP(変換)」を押して「Enter」キーで確定して入力されます。
- 水色の文字は、モードランプ「赤」で、「辞書」キーを2度押した後に押して、その後「SP(変換)」を押して「Enter」キーで確定して入力されます。
- 灰色のモードランプ(=無点灯)の時は、カーソルキー、BS、Del、Ins の機能キーが有効になります。

P300 簡単片手キーボードの文字入力の手操作を一覧に示します。

## ●モードスイッチの設定操作

モードランプは、 消灯状態、 は、赤色点灯状態、 は、緑色点灯状態を示す。モードランプは

スイッチと (「数」Num キー) で切替ます。パソコンの入力モードは「ローマ字かな漢字変換」に。

●全角ひらがな(日本語入力) (※PCの入力モードを「ひらがな入力」にしておく)

入力文字	モードキー	キー操作
あ		 
い		
う		
え		
お		
か		  
き		 
く		 
け		 
こ		 
さ		  
し		 
す		 
せ		 
そ		 

入力文字	モードキー	キー操作
た		  
ち		 
つ		 
て		 
と		 
な		  
に		 
ぬ		 
ね		 
の		 
は		  
ひ		 
ふ		 
へ		 
ほ		 

入力文字	モードキー	キー操作
ま		 
み		 
む		 
め		 
も		 
や		 
ゆ		 
よ		 
ら		 
り		 
る		 
れ		 
ろ		 
わ		 
を		 
ん		 
が		 
ぎ		 
ぐ		 

入力文字	モードキー	キー操作
げ		 
ご		 
ざ		 
じ		 
ず		 
ぜ		 
ぞ		 
だ		 
ぢ		 
づ		 
で		 
ど		 
ば		 
び		 
ぶ		 
べ		 
ぼ		 

入力文字	モードキー	キー操作
ぱ		
ぴ		
ぷ		
ぺ		
ぽ		
きや		
きゆ		
きよ		
ぎや		
ぎゆ		
ぎよ		
しゃ		
しゆ		
しよ		
じゃ		
じゆ		
じよ		
ちゃ		
ちゆ		

入力文字	モードキー／キー操作
ちよ	
にや	
にゆ	
によ	
ひや	
ひゆ	
ひよ	
びや	
びゆ	
びよ	
ぴや	
ぴゆ	
ぴよ	
みや	
みゆ	
みよ	
りや	
りゆ	
りよ	

●小さい文字の入力

と の切替は Mode を押す → 替わらなければ更に A (数) を押す。

入力文字	モードキー	キー操作
あ	Mode →	D A (数)
い	Mode →	D I (数)
う	Mode →	D U (数)
え	Mode →	D E (数)
お	Mode →	D O (数) Ins

入力文字	モードキー／キー操作
つ	Mode → D T (数) U (数)
や	Mode → D Y (数) A (数)
ゆ	Mode → D Y (数) U (数)
よ	Mode → D Y (数) O (数) Ins

●促音の入力例

入力文字	モードキー	キー操作
いっぽん		I (数) P (全角 F9) P (全角 F9) O (数) Ins N (数) V (数) N (数) V (数)
とっさ		T (数) O (数) Ins S (数) f (数) S (数) f (数) A (数)

●全角記号の入力(日本語用)

文字	モードキー／キー操作	文字	モードキー／キー操作
、	J (辞 F10) M (数) SP (変換) Enter	「	J (辞 F10) R (数) SP (変換) Enter
。	J (辞 F10) Y (数) SP (変換) Enter	」	J (辞 F10) W (数) SP (変換) Enter
— (長音)	J (辞 F10) P (全角 F9) SP (変換) Enter	・ (中点)	J (辞 F10) B (数) SP (変換) Enter

※カタカナ文字列中に「長音—」がある場合には、その前の部分を「F7キー」でカタカナに変換・確定してから、長音を入力・確定して下さい。続くカタカナ文字列はその後に続けて同様に入力して下さい。

●漢字かな文に変換

上記ひらかな文字列の入力の直後 SP (変換ボタン) を押して変換し、良ければ Enter で確定する。

●全角カタカナ入力

上記の「ひらかな」文字列を入力して、G (カナ F7) を押してカタカナ変換する。

(例)

I (数) P (全角 F9) P (全角 F9) O (数) Ins N (数) V (数) N (数) V (数) (いっぽん) → G (カナ F7) → イッポン (全角カナ)

●半角アルファベット(小文字)の入力 (※PCの入力モードを「直接入力」にしておく)

文字	モードキー／キー操作	文字	モードキー／キー操作
a	Mode →	k	Mode →
b	Mode →	l	Mode →
c	PCの入力モードを「ひらがな」にする Mode →	m	Mode →
d	Mode →	n	Mode →
e	Mode →	o	Mode →
f	PCの入力モードを「ひらがな」にする Mode →	q	PCの入力モードを「ひらがな」にする Mode →
g	Mode →	p	Mode →
h	Mode →	r	Mode →
i	Mode →	s	Mode →
j	Mode →	t	Mode →
v	PCの入力モードを「ひらがな」にする Mode →	x	PCの入力モードを「ひらがな」にする Mode →
u	Mode →	y	Mode →
w	Mode →	z	Mode →

は変換・確定するの操作

「c,f,q,v,x」等 で変換する時、目的の字種が出ない場合は、 を何回か押して表示される候補の中から選んで下さい。

●大文字の半角アルファベットの入力

希少出現頻度文字「C,F,Q,V,X」以外の文字は、入力後に「F9」キーを押して小文字を大文字に変換して下さい。

希少出現頻度文字「C,F,Q,V,X」は【辞】キー＋該当キー(cfqvX)を押した後、【SP(変換)】キーを押して表示される文字種の中から、適当な大文字を選択して確定して下さい。

●半角数字、半角小文字の入力 (※PCの入力モードを「直接入力」にしておく)

入力文字	モードキー／キー操作
1	Mode →  
2	Mode →  
3	Mode →  
4	Mode →  
5	Mode →  
/	Mode →  
.	Mode →  
*	Mode →  

入力文字	モードキー／キー操作
6	Mode →  
7	Mode →  
8	Mode →  
9	Mode →  
0	Mode →  
+	Mode →  
-	Mode →  

●半角記号の入力(辞書利用) (※PCの入力モードを「ひらかな入力」にしておく)

文字	モードキー／キー操作
=	     
(	     
¥	     
‘	    
;	    
“	    
{	    
<	    
[	    
?	    

文字	モードキー／キー操作
!	       
)	       
%	       
\$	       
:	      
@	       
}	       
>	    
]	      

●半角記号の入力2(辞書利用) (※PCの入力モードを「ひらかな入力」にしておく)

文字	モードキー／キー操作
—	     
^	     

文字	モードキー／キー操作
~	     
	     

●カーソルキー(→↓←↑)と機能キーの操作

Mode スイッチを押してモードランプの色を白色(=無点灯 ) にするとカーソルキー(→↓←↑)と次の機能キーが有効になります。

機能	モードキー／キー操作
→	 
←	 
BS	 
Ins	 

機能	モードキー／キー操作
↓	 
↑	 
Del	 
BS	  半角日本語入力時は こちらでも操作可

●全角アルファベット、全角記号文字の入力

上記半角文字を入力後、カーソルで対象文字を指定して   (全角変換 F9) を押して全角文字にする。

半角数値でも良い場合は、極力半角で済ませるのが簡単。どうしても全角が必要な場合はこの操作になります。

●半角アルファベットの大文字入力

パソコン・タブレット等の入力モードを「かな漢字入力モード」にした状態で、必要なアルファベット文字を入力し、

   (F9を2回押し)して大文字に変換し、 で確定する。

以上